

県央ブロックごみ処理施設整備候補地 住民説明会の開催結果

- 1 開催日時 平成 30 年 12 月 20 日（木） 18 時 30 分～20 時 30 分
- 2 開催場所 新山公民館
- 3 対象町内会 新山自治会
- 4 出席者
 - (1) 住 民 22 名
 - (2) 報道機関 1 社
 - (3) 協議会 7 名（菅原事務局長，森田主幹，畠山室長，古川主査，高橋主査，木村主任，日環センター池本氏）
- 5 会議概要
 - (1) 開会
森田主幹により開会及び司会進行
 - (2) あいさつ
菅原事務局長からあいさつ
 - (3) 説明
畠山室長から「県央ブロックごみ処理施設の整備について」を説明
 - (4) 質疑（質問者 6 名，質問・意見数 21 件）

発言者・回答者	発言内容
① A 書面で質問が提出され，主幹が読上げながら個々の質問に回答	① 生ごみの分別について，紫波地区（旧都南，紫波，矢巾）以外の状況はどうなっているのか，広域化した場合はどうなるのか，食品リサイクル法への対応はどうか。
→森田主幹	① 他の地域においては，燃やせるごみとして収集して処理をしている。 広域化した後においても，現在，生ごみの資源化処理がされている地域は，資源化リサイクルを継続していく。全域における生ごみ資源化についての調査研究をしていく中で，地域の状況などに

	<p>よって検討していく。全国の事例としては、兵庫県の南但広域行政事務組合では、生ごみを分別することなく可燃ごみとして収集し、その中から生ごみを選別してメタンガスを回収して発電する例もあるので、8市町の中で調査検討していきたい。</p> <p>食品リサイクル法への対応は、ごみ処理ということだけではなく大きな視点で取り組む問題なので、関係部署と連携し取り組んでいこうと考えている。</p>
A	<p>2 その他のごみ（資源ごみ）の分別は共通しているか。 プラスチック・古紙・びん・缶・ペットボトル等</p>
→森田主幹	<p>2 プラスチックについては、8市町の中では岩手町と八幡平市では可燃となっている。古紙とびん・缶・ペットボトルについては8市町で資源化されている。可燃ごみについては違いがある。不燃系、不燃ごみ・粗大ごみ・危険ごみについても品目の違いがある。新焼却施設の稼働を平成41年と見込んでいるので、一年前の平成40年には可燃ごみの品目については合わせていきたいと考えている。</p>
A	<p>3 施設を整備する前に、ごみ分別方法を統一する必要があるのでは。現状のまま広域化すると、分別がどんどん悪化する。</p>
→森田主幹	<p>3 分別・資源化・減量化については、8市町で情報を共有しながら取り組んでいき、循環型社会形成推進地域計画という計画を策定し、これを確定させる形で広域のごみ処理計画を策定することで進めたい。</p>
A	<p>4 広域化について①国としての方針は焼却主義からの脱却ではないのか。②他の地域との費用分担はどのようになっているのか。③生ごみはどのようにするのか。④1箇所を集める費用分担はどうなるのか。⑤焼却施設が他の地域に移ることで減量化等の意識が薄れないか。⑥住民参加型がとりにくくなる。</p>
→森田主幹	<p>4 生活で不要になったものを再利用していくということは重要な視点であり、その中で最終的に処理、処分するものが出てくる。衛生的に処理し、減容化して最終埋立分は極力少なくする過程で、焼却処理は欠かすことが出来ないと考えている。ごみ焼却をすると熱エネルギーが出るので、熱エネルギーを地域振興・まちづくりなどに有効に活用することで、循環型社会の形成に寄与すると</p>

	<p>考える。</p> <p>費用負担については、一部事務組合という複数の市町が特定の事務をするものを組織する。費用については、人口による割合であるとか、可燃ごみの量の割合などにより、合理的で公平な負担をしていくこととなり、組合同規約の中で整理する。</p> <p>輸送費については、長距離輸送が発生してくる市町と焼却施設の中間に中継施設を整備し、ごみを積み替え、大型車両で中継施設から焼却施設へ運搬することで効率性を確保することを考えている。遠くから運搬する自治体だけの費用を増やすことがないように、8市町が分担する方法を現在検討しているところである。</p> <p>ごみ処理の範囲が広がることで住民参加が取りにくくなることについては、3R・リサイクル・資源化・減量化など廃棄物を巡る取組については、行政だけではなく地域の皆様との協働の中で進めていくことが要であると考えており、その中で地域に即したごみの資源化・減量化が出来るのかは、先ほど話した地域計画の中で具体化したいと考えている。</p>
A	<p>これまでの回答については、後で要旨等を頂きたい。</p> <p>事前の検討を煮詰めて、ある程度万全の体制となってから進めるのが本当ではないかと思う。</p>
②B	<p>5 障がい者施設があり、隣の沢目部落には病院があり、工事している宮古間の自動車道、なぜこの地域にそのようなものが、全部川東に来るのか。ごみ処理場とか、この地域だけに全て当てはめられる。</p> <p>6 障がい者施設や病院、道路を引き受けているのに、なぜ焼却施設まで持ってくるのか。また、施設が古くなり性能が落ちて良くないものが出てそのまま使うのではないか。健康への影響は無いのか。</p>
→菅原事務局長	<p>5・6 基本的なこととして、なぜこの場所なのかということだが、広域8市町の中で、盛岡市が一番人口が多く6割程になり、量を出すのも6割程の量である。ごみが出た所から処理する所までの距離が短いほうが効率的だということもあり、8市町の中で盛岡市にという方向性だった。広域8市町の首長による検討の中でもあった。どの場所がいいのかと検討したのが27・28年度、10名</p>

	<p>の委員により検討委員会という組織を作り，その中で盛岡市全域の地図が最初にあり，環境保護地区や文化財がある所等を除いて，一定の面積が取れる所を何か所か選び，昨年5月に，4か所選ばせてもらった。どの会場でも意見があるが，人の住んでいないところへ置けばいいという話がある。確かに昔の施設に対するイメージがあると思うが，今はどのような施設になっているかということ具体的に説明させてもらい，街の中に出来ている施設もあり，機能としては同じ機能の物が造れる前提があり，我々としては建設を考えている。</p> <p>6 2つ目の質問については，近くの色々な施設に配慮するべきだという話もちろんある。悪いものがゼロではないが出ているかどうかという話については，人口が密集しているところに造らなければならない東京で，施設の周りで健康被害が起きているかという点，その事例は無い。不安だというお話も頂くが，現実として無いし，機能としてしっかり出来ている前提の中で，施設建設を進められないかとお話をしているもの。</p>
B	<p>7 若い人や家族皆が，毎日焼却炉の空気を吸い，体が変わったり，機械が古くなると，能力が落ち，大気に影響が出てくるのではないかと。施設が古くなっても健康に影響は無いのか。</p>
→菅原事務局長	<p>7 焼却施設だけではないが，新しいのがいいのはもちろんそのとおりだが，今のクリーンセンターもそうだが，最後のバグフィルターで，煙の中の細かい「ちり」とか「ばいじん」が含まれているものを引っ掛けるためのバグフィルターという布は3年ごとに交換すると決めており，他の設備についても悪くなるまで使うということではなく，年数により換えていく施設プランとなっているし，機能が落ちないように換えていくことを基本としてやっている。</p>
B	<p>8 焼却施設が出来た後での事故などが心配だ。 農家の皆さんが，様々な問題で野菜とか果樹などに影響すると大変だと思う。人間の健康以外にも，いろいろ影響が出てくるのでは。ニュースなどで，何年か経って，後でとんでもないことになる例がたくさんある。それを一番心配している。</p>
→日環センター	<p>8 心配している部分は，他でもよく聞かれることで，全国的な話</p>

池本氏	<p>を含めて説明する。日本国内では 1,100 以上の焼却施設が稼働している。住宅地に近い所もあれば、農地の中にあるものも沢山ある。今考えられるのは、特殊な場所でなければ建てていい状況にある。心配している方の話を良く聴くと、イメージが昭和 40 年代の公害が問題になった頃の施設のイメージで心配していることが多い。その頃から問題になっていることに対しては、毎年施設がいくつも建設され、問題に対処しながら、解決しながら今に至っている。今の施設では、健康に影響する問題についても万全である。ある程度どこにでもある施設と思ってもらっていいかと思う。今の施設のイメージを持って、不安な気持ちを回復してもらえればと思う。</p>
③C	<p>9 昨日、堀越で説明会があったようだが、当の堀越自治会では、懸念されている問題や質問があったのか。</p>
→菅原事務局長	<p>9 昨日、堀越公民館で、堀越自治公民館、田の沢町内会、沢目町内会に案内をして、20 名位の参加をいただいた。排気ガスや大気関係の環境面での質問、どうして持ってこなければならぬのかという広域化の関係、農家の方で、施設が出来ると作物に風評被害があるのではないか、自分の作物に影響が出る不安がある、施設の基準値をどのようにして守るのか、超えた場合はどうするのか、灰はどうするのかなどを説明した。概要はそのような状況である。</p>
④D	<p>10 現状の処理施設数での継続の問題は何なのか。 11 広域処理を選択したのはなぜか。 12 広域処理の目的とは何か。</p> <p>そもそも現状のままで何が問題で、何百億もかけなければいけないのかが、分からなくなってきた。20 年くらい前に決まったことだからと、強引に説明をしましてということで、進めていくことでは、最後の最後まで住民の理解は得られる気がしない。どうしてもやらなければいけない理由とは、何があるのか、基本のごみは、地域地域で処理するのが基本的な考えではないかなというところを、何でもかんでもまとめて処理すれば効率的だといわれても、メリットが感じられない。分かれて処理している現状の問題点、これだけお金をかけてやることと、そもそもこの計</p>

	画をなぜやらなければいけないのかというところを、もう少し簡単に説明を頂きたい。
→菅原事務局長	<p>10 8市町の6施設で焼却をしている。30年近くになる施設もあって、建て替えというものが必要となってくる。単独より一緒にやった方がコストメリット等があるかが基本的な発想だが、自治体としても皆様からの税金で整備するので、コストは当然考えなければいけない。</p> <p>11 我々の作った計画の中でも、3Rの推進はもちろん、災害対策は、今あちこちで災害があるので、その分の余力も持たなければならぬということ、まとめて1か所でやる。あとコストもある、他に温暖化対策もあるが、我々の計画の中では、地域の中で焼却については集めて処理するのが効率的で、各市町の財政のメリットがあるだろうと、造る際には、当該の盛岡市になるし、建てる地域に負担や精神的な面を感じているところはそのとおりかと思うので、その辺はしっかり説明しなければならないし、施設は造れるのではないかと考えている。</p> <p>12 8市町それぞれが施設を持ったまま進んでいくとなると、財政的な負担はあるだろう。環境面や財政的には、集めれば集めるほど大変だという状況ではないという前提で、やる意味があるだろうと考えている。</p>
B	13 住民に対する説明の前に、周辺事業者から住民を無視して、事前に了解を得ているということはないのか。
→森田主幹	13 説明会については、堀越・周辺の地区町内会を対象に説明しているところで、住民の方々と地域の方々に説明して、事業者や関係するところにも説明していかなければならないと思っているが、そちらのほうへの説明は、現時点ではまだ、させていただけていない状況である。
B	14 後で聞いたとき、話が違うことはないか。直接会って聞いてくる。まさか先に（承諾を）もらっているわけでないか。
→森田主幹	14 相手方のスケジュールなど確認しながら進めていく中で、どの時点で事業者などに説明できるかは、今は約束できないが、いずれその部分も順次、行ないたいと考えている。 (質問者から「最後は確認に行くんでしょう」の発言あり)

	<p>確認というか、まず最初に説明をさせてもらう。皆様と同じ内容の説明となる。繰り返しになるが、それぞれの地域にお住まいの方々に説明させてもらい、その後、状況などを見ながらだが、説明が必要な方々の対象を拡げていくことを考えている。</p>
⑤E	<p>15 広域化の問題は、最初の資料に県は国の通知を受けて、県内を6つのブロックに分けるのは県が決めたのか。6つのブロックは今のようになに説明会をやっているのか進行中か。予定している施設は、250億円かかるというが、予算は国の交付金があるのか、8市町で負担するのか、県の補助が有るのか、教えてほしい。</p>
→菅原事務局長	<p>15 岩手県では国の通知を受けて平成11年3月にごみ処理広域化計画を策定し、県ごとの計画を作るというのが国の通知だった。全国の都道府県で作られたのが平成11年。県内全対象で岩手県の場合は6つのブロックに分けられた。県央ブロックは3市5町となる。</p> <p>他のブロックの状況は、県北と県南は1つのブロックの中に2つの処理施設がある。県南だと金ヶ崎・奥州・平泉・一関で、奥州と一関に処理施設がある、そのような形が県北でもある、中部の花巻・北上・和賀・遠野は1つの施設で平成27年から運営している。遠野は遠いので中継施設を造り大型車に積み替えて北上の施設へ運ぶというつくりになっている。沿岸は中部ブロック南部ブロックとも1つの施設になっている。</p> <p>財源については、8市町の施設なので8市町で負担する。それに国の交付金が入るということで、県というお話があったが県の補助金は入らない。それが財源の構成となっている。</p>
→森田主幹	<p>15 整備費用250億ということで資料で説明した中で、国の循環型社会形成推進交付金、80億については交付金を財源として活用できると見込んでいる。</p>
D	<p>16 現状とブロック化した場合のコスト比較を数値で示してほしい。向こう50年間とか、現状の場合と、ブロック化した場合のコストを示していただきたい。</p>
→日環センター 池本氏	<p>16 家庭から出るごみの処理の責任は市町村の責任となっている。処理を停止させないように継続して安定的に安全に処理を続けるために、施設の建て替えや、建設を考えることになっている。平</p>

	<p>成 40 年の稼働だと、今 30 年だから 10 年後の話になっている。今年考えて来年造る事は出来ない。建設は環境の調査を 3 年位かけ、事業者を選定するのに 2 年位かけ、建設に 3 年から 4 年かける。そのような期間があってはじめて施設が出来るもので、大分前から準備をし始めなければ間に合わない。全国の施設を見てみると、30 年位経った頃から次の施設に移った方がいいと動き出しして移った例が多いので、10 年位前から考えていることが多いということになっている。そういったことからすると 100 年 50 年という話は、建ち続けるということはないかと思う。そのような考え方で比較できる話をしてもらった方がいい。</p>
D	<p>17 一番大きな自治会である、手代森ニュータウンでは、まだ説明会が開かれていないと聞いたがどうなっているのか。</p>
森田主幹	<p>17 新山自治会さんに説明会の話をお持ちした頃に、手代森ニュータウンさんにも話をした経緯がある。手代森さんからは「候補地に決定していない段階で、今は説明会の開催はしなくても良い」という御意向であったが、その後、地域から説明会をとという話が会長に寄せられたようで、現在、日程等調整し、説明会の開催に向けて話を進めている。</p>
D	<p>18 自治会の範囲について。 19 住民合意の基準とは何か。</p> <p>手代森地区には、まだ小学校周辺あたりまで自治会が他にもある。これは私からの要望だが、手代森地区一帯の同意を得るべく均等に説明会を開いていただきたい。どの基準を持って住民の同意を得られたかどうかという基準があれば教えていただきたい。自治会の範囲についてと、住民合意の基準についてお示しいただきたい。</p>
→菅原事務局長	<p>18 範囲については川東という地域がある。手代森が大きなエリアであろうと、そういうコミュニティー、生活感はどこまでなのかということも含めて考えなければならないのか、今回（資料に）記載の地形的な面からすると、手代森ニュータウンまで考えるべきかなということで話をさせてもらっている状況である。地域とも確認をしながら、進めることになるかと今時点で考えている。</p> <p>19 資料にも書いており、今後の進め方というところである。4 か</p>

	<p>所の選定までの経緯までのところは、先ほど地図を使って話したアクセスの容易性で距離が近いかどうかを数値化し、4か所の選定になり、そこから説明会に入っている。数値で決めるものではなく、いろいろな条件、一番は、関連する地域の方々の理解が一番大事ではないかというところを踏まえ、地域住民や関係者の意見、整備の確実性というのはクリーンセンターだと覚書という地域との関係性があり、地権者の関係もある。整備運営上の諸条件の場合、どういう設備が造れるか、電気を作って送る場合には高圧の鉄塔が要る、全体として総合的に判断していくことがいいという考え方で、総合的に判断すると表現している。皆様と話し合いが出来る、こういったものを造ったらどうか、クリーンセンターにはゆびあすがあるが造ったらどうか、他の例ではハウスを造ったらどうなのかとか、地域の方とまちづくりとかそういうことも含めて進めていくのであれば、施設を造ったら終わりではなく、全体の状況の中で総合的な判断という考え方で進めると考えている。</p>
D	<p>20 今のは進んだ場合の話だと思う、仮にこういった説明会を聞いて我々が賛成したい、反対したいにしても、どういう行動をとるのがいいとかあるのか。賛成・反対とアンケートを取るとか。</p>
→菅原事務局長	<p>20 アンケートという手法も確かにあるが、（質問者から「どうやって住民の合意を得たと確認できるのか」との発言あり）同意というと、良いか悪いかと関係する方々全員から頂く必要がある仕組みになってしまうと思う。どのようにやっていけばお住まいとか何かしらプラスの面とか、生活が将来に向けても良いものになる話になってくれば、我々とすればいいのかなと、全体を含めての総合的な考え方ではないかなと思っている。</p>
→日環センター 池本氏	<p>20 国の方の話を少しさせてもらおうと、以前は同意を取ってという話があったが今はなくなっている。その代わり環境影響の調査を3年間位かけてする。その調査でやり取りをして、不安なことや、こうしたほうがいいのではないかとやり取りをして、物事の理解を深めていき事業を進めるとというのが最近の動きなので、思っていることを意見として発してもらい、進んでいくのがいいかなと思っている。それに対して答えられることをしっかり答え</p>

	<p>ていって理解を深めていくようなやり取りをさせてもらいながら事業を進めていくという事が今の内容になっている。</p>
⑥F	<p>21 小学生と中学生幼稚園の子供を持つ母親だが、このごみ処理施設がもしかすると手代森に来るかもしれないと子供たちに話したことがある。中学生の娘の意見は、何で山を切り崩して処理施設を造らなければならないのか。せっかくこんなにいい地域なのになんで来なければならないのか。</p> <p>交通量も気になる。歩いて通っているところを大型ダンプが通ったり、今工事が治まって少し楽になったが、怖い。これ以上交通量が増えるのであれば道路も変えてほしいという意見も出ていた。大人だけではなく子供にも説明をして欲しい。</p>

(5) 閉会

以上